

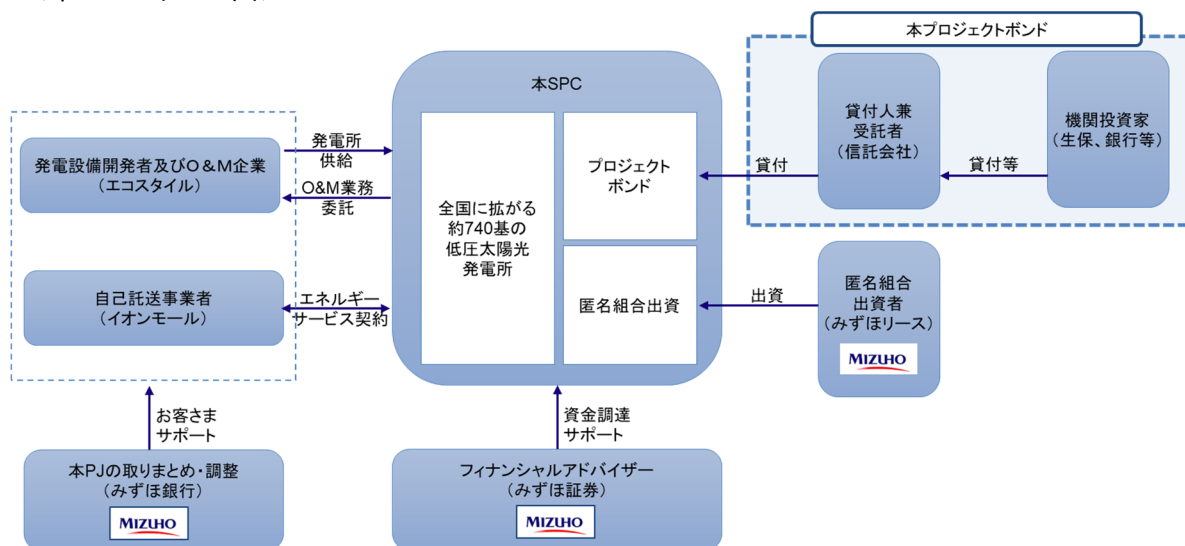
## 自己託送方式による低圧・分散型太陽光発電事業に対する 再生可能エネルギープロジェクトボンドの組成及び出資について

今般、みずほ証券株式会社は、2022年5月17日に公表しました基本合意（※1）「国内最大規模となる自己託送方式（※2）による低圧・分散型太陽光発電設備を通じた再生可能エネルギー調達」（以下、「本PJ」）に基づき、全国約740か所の「自己託送方式による低圧・分散型太陽光発電所」を裏付とした我が国初の再生可能エネルギープロジェクトボンド（以下、「本プロジェクトボンド」）を組成し、みずほリース株式会社は本プロジェクトボンドにより資金調達を行うSPC（以下「本SPC」）に対して出資（以下「本出資」）しましたのでお知らせ致します。

本PJにおいて、株式会社みずほ銀行はPJの取りまとめやサポートを担い、みずほ証券株式会社はファイナンスアレンジの提供、スキーム構築等に関する助言を行いました。再生可能エネルギー事業への投資やお客さまへの省エネソリューションの提供等に取り組んでいるみずほリース株式会社（※3）は、リスクマネーの供給として本SPCに出資を行っております。

本プロジェクトボンド及び本出資により調達された資金は、本SPCが低圧太陽光発電所の取得資金として調達済みの既存ブリッジローン及び劣後社債の返済等に充当されます。また、長期に渡る本PJに合わせた返済を予定しており、長期資金を供給することで本PJをファイナンス面から支えるものとなります。

<本PJスキーム図>



本PJにおいて、〈みずほ〉は再生可能エネルギーの拡大や耕作放棄地の活用といったわが国の社会課題解決に向けた、低圧分散型太陽光発電の可能性を予見したサステナブルな社会実現に向けた知見の提供をするなど、金融・非金融両面からお客さまの取り組みを支援しています。

〈みずほ〉は、これからも総合金融グループとしての知見を活かし、ファイナンスやコンサルティング機能を通じて、お客さまの企業価値向上やSDGs達成に貢献していくとともに、多様なソリューションの開発・提供に積極的に取り組んでいきます。

<本プロジェクトボンドの概要>

本 SPC	RB ソーラーダイヤ合同会社
組成金額	66.6 億円
発行時期	2023 年 3 月
アレンジャー	みずほ証券株式会社
プロジェクトボンド投資家(※)	株式会社イオン銀行、住友生命保険相互会社、富国生命保険相互会社など

※開示に同意のある投資家のみを五十音順で記載

※1 2022 年 5 月 17 日『～国内最大規模～「自己託送方式による低圧・分散型太陽光発電設備を通じた 再生可能エネルギー調達」基本合意について』:

[https://www.mizuohobank.co.jp/release/pdf/20220517release\\_jp.pdf](https://www.mizuohobank.co.jp/release/pdf/20220517release_jp.pdf)

※2 自己託送:

遠隔地の太陽光発電設備で発電した電気を、送配電事業者の送配電設備を利用し、自社施設または自社グループの施設へ送電すること。

※3 みずほリース株式会社は、自己託送やコーポレート PPA 等を活用した太陽光発電ビジネスにおける提携を目的に、株式会社エコスタイルと資本業務提携に関する契約を締結しました。

<https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/news/news6574343177057794032/main/0/link/2023030102.pdf>

以 上

<対象発電所分布図>

